

アンソニーカメラ

下の写真が何か、ご存じでしょうか？

これは、主にスタジオ用として使用されたカメラで、一般



には「アンソニーカメラ」と呼ばれています。明治3年(1870)にアメリカ人のアンソニーによって設計され、明治後期には日本の写真館でも取り入れられました。博物館所蔵の本品は、昭和38年から平成16年ごろまで、現在のふじみ野市の写真館で使用されていました。

初期にはガラス乾板が使われ、後にフィルムが使われます。シャッターボタンを押せば写真が撮れる現代のカメラと違い、シャッターを押すまでにさまざまな準備が必要です。機能を調整しやすく写りも良いため信頼性が高く、多くの写真館で使用されました。カメラはその後、フィルムカメラが主流となり、今ではデジタルカメラや携帯電話のカメラ機能などが広く利用されています。

同館では「むかしの勉強・むかしの遊び」展を開催し、アンソニーカメラをはじめ、カメラの変遷や、昔の暮らしに関する資料を展示します。古き良き時代へのタイムスリップをお楽しみください。



期間：1月18日(土)～3月1日(日)
 経費：入館料200円

サツマイモまんが資料館&川越いも学校

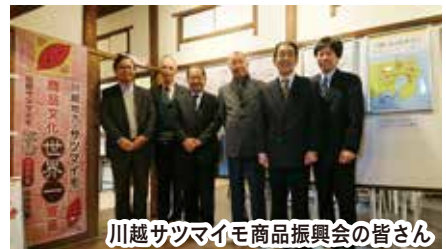


サツマイモまんが資料館&川越いも学校がオープンしました。

同資料館では、川越いも文化とサツマイモの世界を楽しく情報発信するため、イラストやマンガで描かれた川越地方の歴史や、サツマイモを使った商品が展示されています。また、川越いも学校では、サツマイモについて学びたい方に向けて、1回につき10人まで45分間のミニ講義を実施しています。

「先人から受け継いできたこのサツマイモ文化を後世に残すため、この地から世界に発信していきたい」と川越サツマイモ商品振興会代表の神山

正久さん。川越とサツマイモの歴史を知るため、足を運んでみてはいかがでしょうか。



川越サツマイモ商品振興会の皆さん

所在地…紋蔵庵蔵の街店2階(元町1丁目)

開館時間…午前11時～午後4時

入館料…無料。ミニ講義は受講料1人500円

申し込み…同館ホームページから(下の2次元バーコードからもアクセスできます)

*開館日は月2回程度で、入館には事前に申し込みが必要です。



編集後記
 ぶんべり

令

和になって初めてのお正月。皆さんはどのよう

に過ごされましたか。今年最初の表紙は、県指定無形民俗文化財・南大塚の餅つき踊りです。毎年、成人の日の前日の日曜日に西福寺(南大塚二丁目)で行われています。表紙の写真は3人でついでいますが、ほかに、6人から8人で息を合わせた餅つきも披露されます。

箱

根駅伝に挑む市内の2

大学を12月25日発行の広報川越で紹介しました。取材をした両大学の主将は4年生ということで、最後の箱根駅伝。東洋大学の相沢晃主将は「東京オリンピックを目指している、そこにつながる走りをしたいです」と語り、東京国際大学の内山涼太主将は「競技生活最後のレースなので、笑って終わりたいです」と話していました。それぞれの目標が達成されたのか、例年以上に興味深くテレビ観戦をしていました。

広報川越1454

■発行日/令和2年1月10日(毎月10日・25日発行)
 ■発行/川越市 〒350-8601 埼玉県川越市元町1丁目3-1 <http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>
 ☎049-224-8811(代表) ☎049-225-2171
 ■編集/広報室

「声の広報川越(CD)」 「点字広報川越」を作成しています。ご希望の方は、広報室までご相談ください。
 ☎224-5495 ☎225-2171

私的利用の範囲を除き、記事や写真の無断転載を禁止します。

この印刷物は、グリーン購入法に適合する紙を使用し、印刷用の紙へ、リサイクルできます。 リサイクル適性

Fontworks UDFont